

質 問 順 位	5	質 問 者	館 内 孝 夫 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市民行政	1. 窓口業務対応について	1. 別府市役所はおくやみコーナーという専門窓口を設け、死亡届からつながる各資格喪失届や変更手続きに対して、市民を各部署の窓口に移動させずに窓口担当者が対応しています。 手続きの一元化によって、それにかかる作業時間は3割程度削減されたことや、市民からは行政手続きの煩わしさの解消につながっているとの声もあります。職員側も市民側もお互いが良しという状況であり、これは、おくやみのための手続き簡略化の成功事例だと思います。 別府市のように全く同じことはできないとは思いますが、可能な限り市民にとって使用しやすい窓口、可能な限り市民を振り回さない取り組みは必要だと思いますが、本市の考えを伺います。		

質 問 順 位	5	質 問 者	館 内 孝 夫 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
2. 教育行政	1. 香害について	1. 家庭で使用する洗剤や柔軟仕上げ剤、消臭剤等に含まれる過剰な香料によって、気持ちが悪くなったり、頭痛、吐き気などを生じる人がいます。中には、学校や職場に行けなくなるほど深刻な方もいるそうです。 化学物質過敏症の人だけの問題ではなく、一般の方でも困っている人はいます。あるせっけんメーカーがインターネット上で調査を行ったところ、「人工的な香りを嗅いで、何らかの体調不良を起こしたことがある。」と答えた人が、5割を超えていたそうです。香料に苦しんでいる人への配慮を促す啓発ポスターを掲示している自治体もあります。また、人工的な香料は化学物質でもあることから、国のガイドラインが必要であるとの指摘もあります。 学校現場では、給食の白衣が、分かりやすい事例となっています。おいしい給食の香りをしっかり感じることは、食育の観点から大切ですが、着用している白衣が強い香料を放っていると、嗅覚は強い臭いに慣れてしまい、鈍感になってしまいます。また、次に使う人がどのようなアレルギーを持っているのかなども考えて、香料を控えることを呼びかけるなど、対応が必要だと思われます。成長過程のアレルギーを持っている子どもたちをはじめとする、全ての子どもたちの健康への配慮の観点からも、香料に関して呼びかけや何らかの対応が学校現場では必要だと考えますが、見解を伺います。		